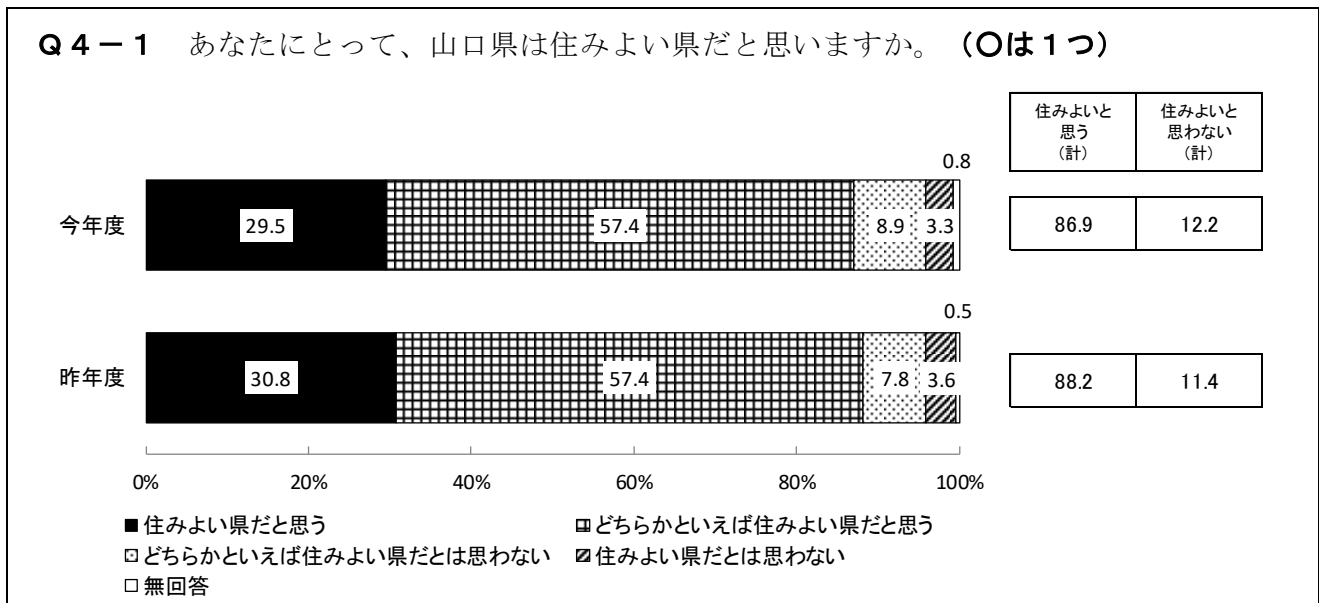


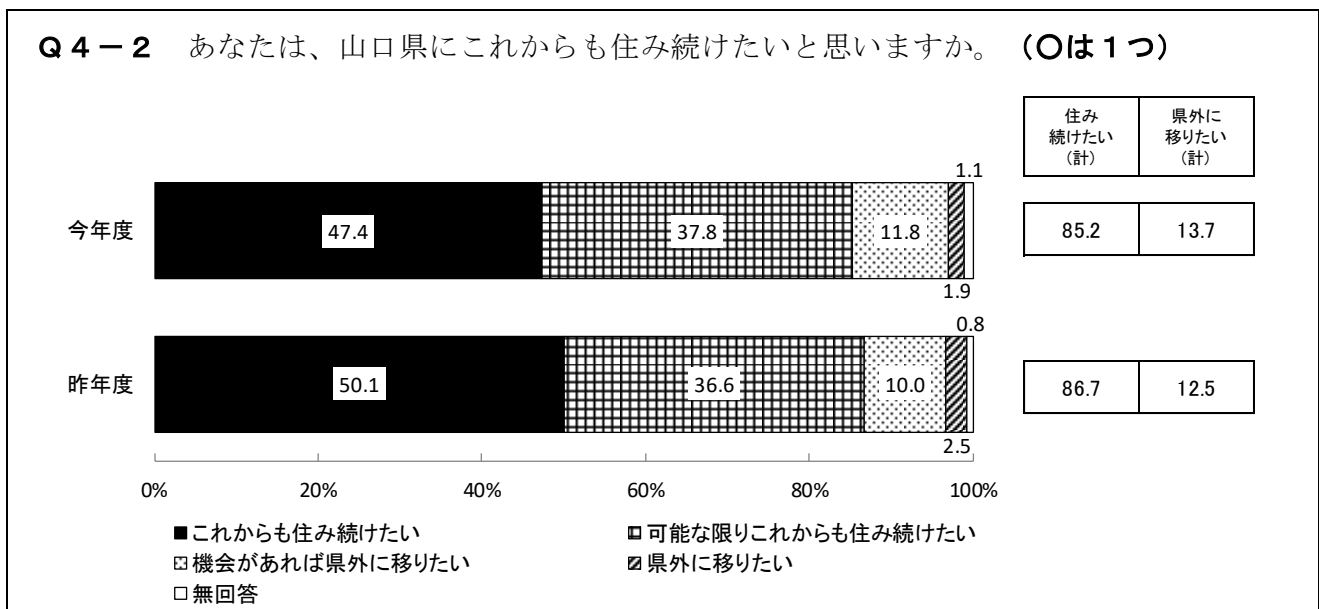
4. 県の取組に対する実感

4-1. 山口県の住みよさ



山口県の住みよさについて、「住みよい県だと思う」と「どちらかといえば住みよい県だと思う」を合わせた『住みよいと思う (計)』が 86.9%となっており、昨年度と比較すると、『住みよいと思う (計)』は 1.3 ポイント低下したが、引き続き、8割後半の高水準にある。

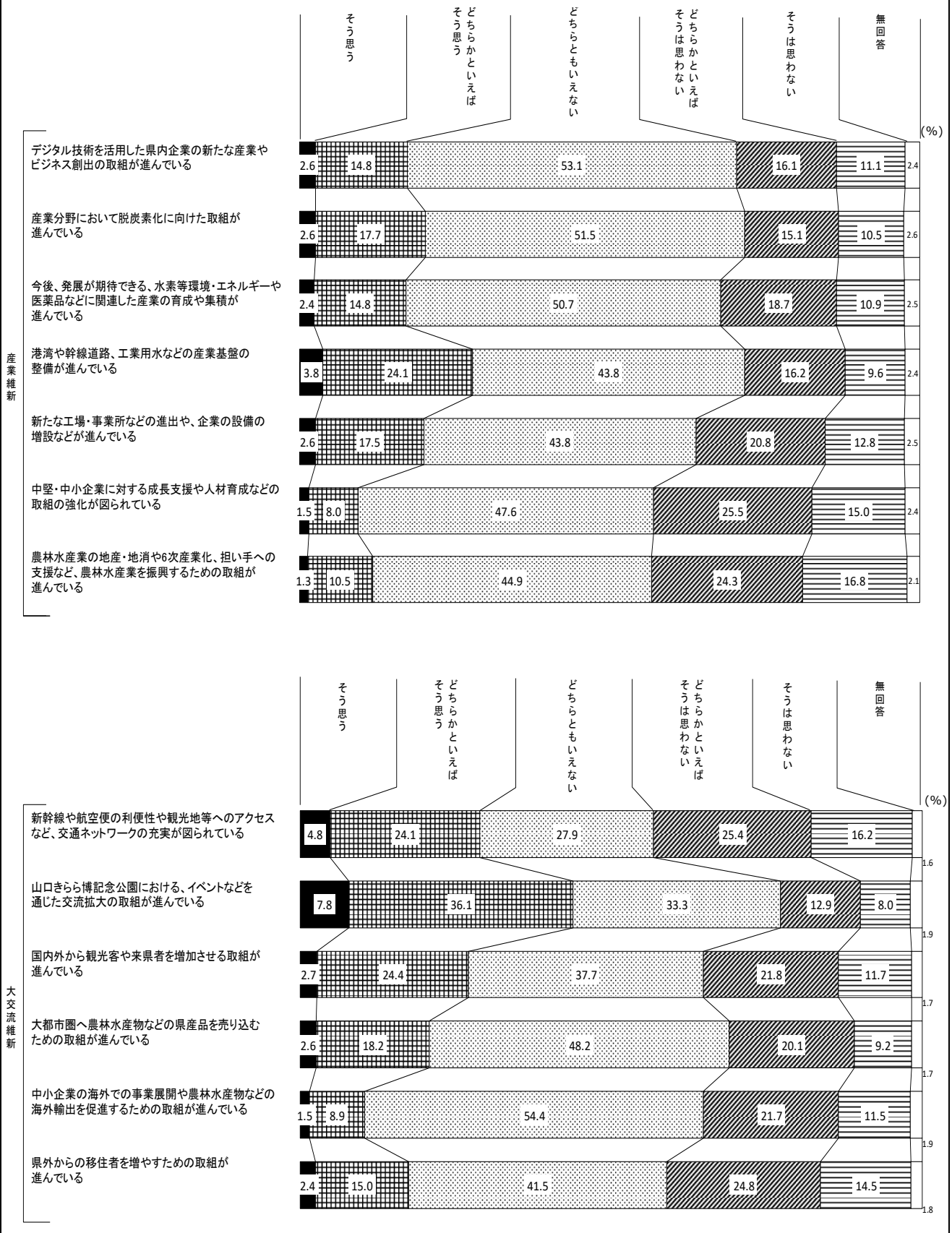
4-2. 今後の山口県での居留意向

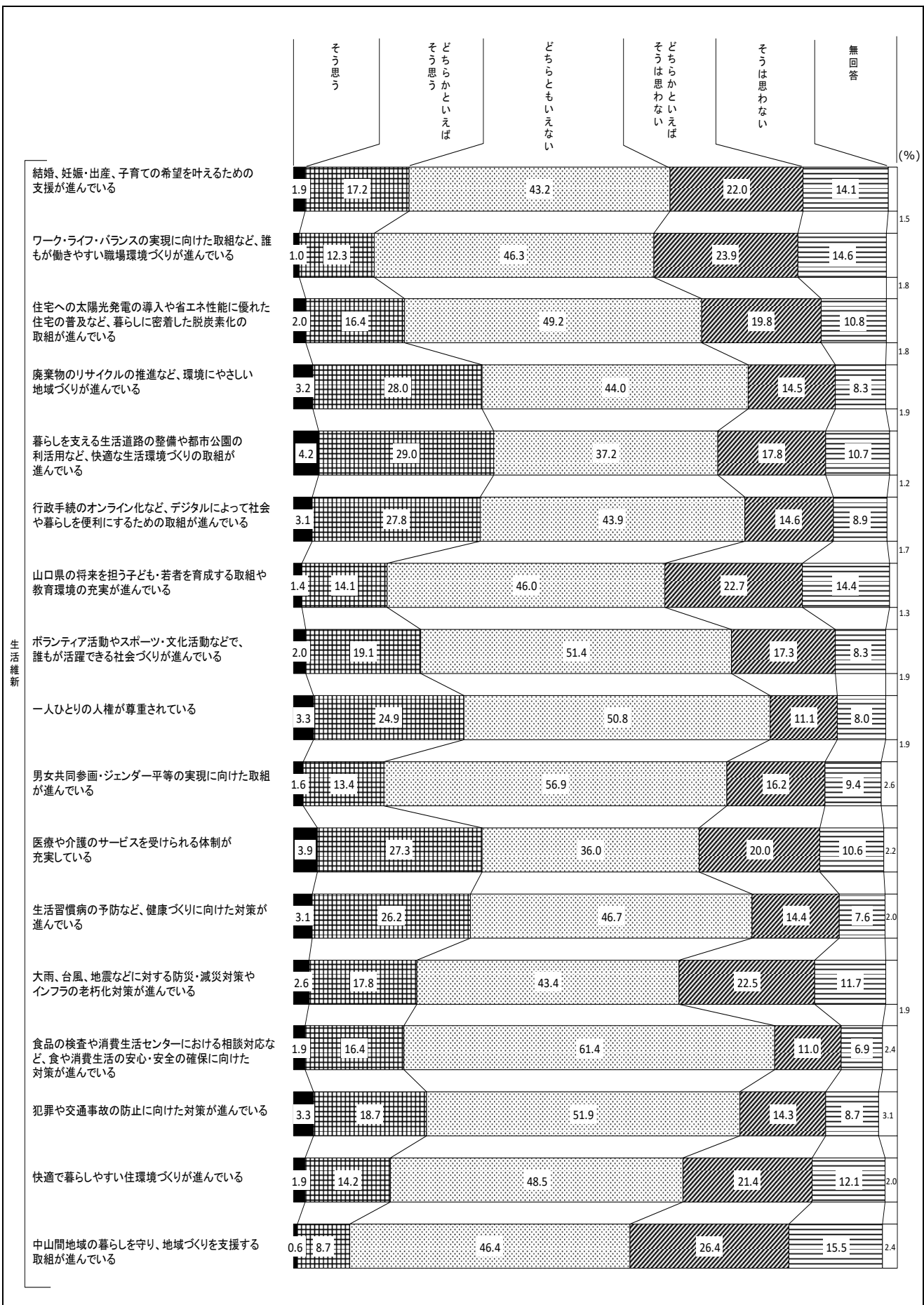


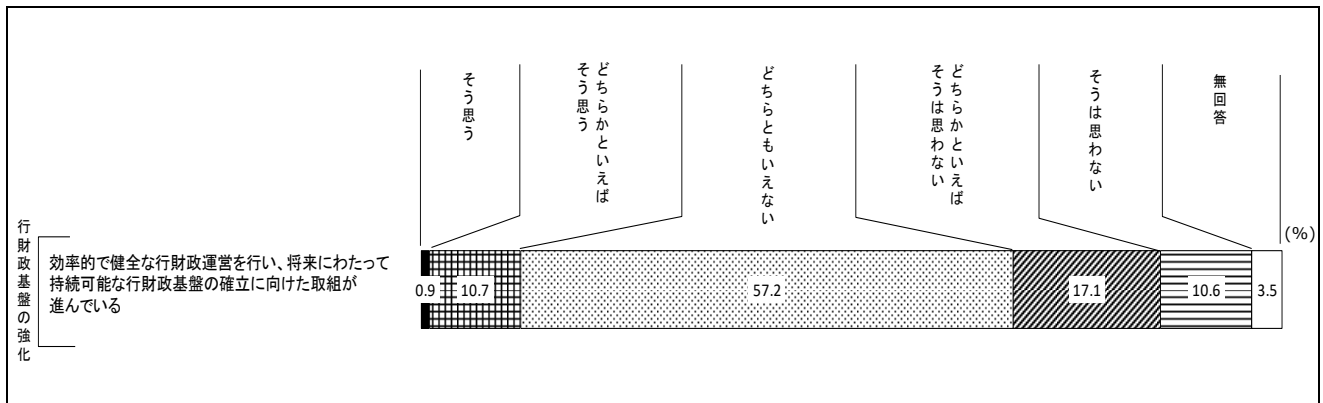
今後の山口県での居留意向について、「これからも住み続けたい」と「可能な限りこれからも住み続けたい」を合わせた『住み続けたい (計)』が 85.2%となっており、昨年度と比較すると、『住み続けたい (計)』は 1.5 ポイント低下したが、引き続き、8割後半の高水準にある。

4-3. 県の取組に対する実感

Q4-3 「やまぐち未来維新プラン」では20のプロジェクトを掲げ重点的に施策を推進しています。これに関する県の取組について、あなたの実感についておたずねします。（〇はそれぞれ1つずつ）







県の実感について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う（計）』の割合は、【大交流維新】分野の「山口きらら博記念公園における、イベントなどを通じた交流拡大の取組が進んでいる」が 43.9%、【生活維新】分野の「暮らしを支える生活道路の整備や都市公園の利活用など、快適な生活環境づくりの取組が進んでいる」が 33.2%、【生活維新】分野の「廃棄物のリサイクルの推進など、環境にやさしい地域づくりが進んでいる」、「医療や介護のサービスを受けられる体制が充実している」が 31.2%（同率）などで高くなっている。

一方、「そうは思わない」と「どちらかといえばそうは思わない」を合わせた『思わない（計）』の割合は、【生活維新】分野の「中山間地域の暮らしを守り、地域づくりを支援する取組が進んでいる」が 41.9%、【大交流維新】分野の「新幹線や航空便の利便性や観光地等へのアクセスなど、交通ネットワークの充実が図られている」が 41.6%、【産業維新】分野の「農林水産業の地産・地消や 6 次産業化、担い手への支援など、農林水産業を振興するための取組が進んでいる」が 41.1%などで高くなっている。